

## 2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <https://www.nisseiasb.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）藤原 誠

問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部長（氏名）山本 雄一 TEL 0267-23-1560

半期報告書提出予定日 2026年5月15日 配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	24,041	9.8	6,506	18.8	6,680	16.3	4,784	19.3
2025年9月期中間期	21,902	31.6	5,476	59.6	5,745	65.4	4,008	54.0

（注）包括利益 2026年9月期中間期 5,902百万円（23.9%） 2025年9月期中間期 4,764百万円（55.8%）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	319.14	—
2025年9月期中間期	267.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	82,333	61,850	75.1
2025年9月期	78,386	58,946	75.1

（参考）自己資本 2026年9月期中間期 61,792百万円 2025年9月期 58,889百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	200.00	200.00
2026年9月期	—	0.00			
2026年9月期（予想）			—	240.00	240.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	14.5	13,000	22.2	13,100	20.0	9,100	17.6	607.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期中間期	14,991,108株	2025年9月期	14,991,108株
② 期末自己株式数	2026年9月期中間期	50株	2025年9月期	—株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年9月期中間期	14,991,058株	2025年9月期中間期	14,991,144株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnet及び当社ウェブサイト同日掲載しております。また、当社は2026年5月25日に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定であり、その資料については、当日までにTDnet及び当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績の概況 .....	2
(2) 財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	7
(中間連結損益計算書) .....	7
(中間連結包括利益計算書) .....	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	10
3. 補足情報 .....	11
受注及び販売の実績 .....	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年10月1日～2026年3月31日、以下「当中間期」)の世界経済は、長引く地政学リスクの緊張拡大や、主要国における金融政策の転換に伴う景気後退懸念など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループが属するストレッチブロー成形機業界におきましても、原材料価格の高騰や深刻な人手不足を背景に、顧客の生産現場におけるコスト負担増への対応が喫緊の経営課題となっております。

このような環境下、当社は主力製品である1ステップ成形機の最大の特徴である「省人・省エネ・省スペース(Saving Labor, Saving Energy, Saving Space)」という産業機械としての普遍的な強みに、新たに「省材料(Saving Material)」を加えた「4Sコンセプト」を提唱しております。

特に、当社の独自技術である「ゼロ・クーリングシステム」は、ボトル成形のサイクルタイムを短縮しつつ、より少ない樹脂材料での容器成形を可能にするものであり、足元の原材料価格高騰に対するソリューションとして世界的に高い期待が寄せられております。これら「4Sコンセプト」を実現する唯一無二の技術力により、顧客の経営課題に対する当社製品の優位性は一段と鮮明になっております。

その結果、当中間期の受注成績につきましては、期初にドイツで開催された世界最大のプラスチック展示会「K2025」等の主要展示会で獲得した引き合いを着実に成約へと繋げたことにより、受注高は28,657百万円(前年同期比125.1%)、受注残高は21,850百万円(前年同期末比113.5%)となり、中間期としての過去最高を記録しました。

売上成績につきましても、全製品カテゴリにおいて堅調に販売を伸ばした結果、売上高は24,041百万円(前年同期比109.8%)と、中間期としての過去最高を更新しました。

利益面におきましても、増収効果に加え、製品・地域ミックスに恵まれた結果、展示会出展に伴う一過性費用を吸収しました。その結果、売上総利益は11,892百万円(同115.9%)、営業利益は6,506百万円(同118.8%)とそれぞれ大幅増益となりました。また、経常利益は6,680百万円(同116.3%)、親会社株主に帰属する中間純利益は4,784百万円(同119.3%)となり、すべての段階利益において中間期としての過去最高を更新しました。

当中間期における損益の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
前中間期	21,902	10,265	5,476	5,745	4,008
当中間期	24,041	11,892	6,506	6,680	4,784
前年同期比	109.8%	115.9%	118.8%	116.3%	119.3%

製品別の業績は次のとおりであります。

## 製品別受注状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
前中間期	11,268	7,287	1,374	2,976	22,906
当中間期	15,035	8,760	1,478	3,382	28,657
前年同期比	133.4%	120.2%	107.6%	113.6%	125.1%

## 製品別売上高状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
前中間期	11,540	6,222	1,287	2,851	21,902
当中間期	12,039	7,437	1,262	3,301	24,041
前年同期比	104.3%	119.5%	98.0%	115.8%	109.8%

## ① ストレッチブロー成形機

第1四半期に引き続き、中小型機は好調を、大型機は堅調を維持しました。その結果、受注高は15,035百万円(前年同期比133.4%)と大幅に増加し、中間期としての過去最高を記録しました。売上高につきましては、前年同期に計上された大型案件の反動により一部減少したものの、主力の中小型機が広範な地域で販売を伸ばしたことが寄与し、12,039百万円(同104.3%)と中間期としての過去最高を更新しました。

## ② 金型

世界的なプラスチック容器需要の拡大を背景に、金型需要は年々伸長しております。特に近年では、容器の軽量化(省材料化)ニーズの増加に伴い、当社のゼロ・クーリング成形の優位性が一段と高まっており、当中間期においても好調に推移しました。その結果、受注高は8,760百万円(同120.2%)、売上高は7,437百万円(同119.5%)となり、それぞれ中間期としての過去最高を更新しました。

## ③ 部品その他

生産設備の安定稼働の要求や、世界的なエンジニア不足を背景に、保守・サービスの需要は全世界で拡大しております。当中間期においても好調を維持した結果、受注高は3,382百万円(同113.6%)、売上高は3,301百万円(同115.8%)となり、それぞれ中間期としての過去最高を更新しました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## セグメント(地域)別受注状況

(単位:百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
前中間期	7,167	4,767	7,097	3,875	22,906
当中間期	10,606	5,817	8,798	3,434	28,657
前年同期比	148.0%	122.0%	124.0%	88.6%	125.1%

## セグメント(地域)別売上高状況

(単位:百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
前中間期	6,957	3,816	6,382	4,745	21,902
当中間期	8,133	5,129	6,940	3,838	24,041
前年同期比	116.9%	134.4%	108.7%	80.9%	109.8%

## セグメント(地域)別利益

(単位:百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
前中間期	1,330	637	2,025	3,049	7,043
当中間期	964	834	1,988	4,563	8,351
前年同期比	72.5%	130.9%	98.2%	149.7%	118.6%

## ① 米州

需要は米州全体で堅調に推移しました。北米市場は旺盛な購買力に加え、関税コストの一部価格転嫁が進んだことにより、受注・売上ともに増加しました。中南米市場も政情不安による一時的な不透明感を払拭し、堅調に推移しました。その結果、当中間期の受注高は10,606百万円(前年同期比148.0%)、売上高は8,133百万円(同116.9%)と、それぞれ中間期として過去最高を記録しました。一方、セグメント利益は、関税コストの一部負担や展示会費用の増加により、964百万円(同72.5%)の減益となりました。

## ② 欧州

経済環境には不透明感が見られるものの、「4Sコンセプト」に基づく当社製品の需要は根強く、好調を維持しております。その結果、受注高は5,817百万円(同122.0%)、売上高は5,129百万円(同134.4%)と、それぞれ中間期として過去最高を記録しました。セグメント利益につきましても、増収効果等により展示会費用を吸収し、834百万円(同130.9%)の増益となりました。

## ③ 南・西アジア

東南アジア市場は市況回復に時間を要しているものの、インド及び中東市場が好調に推移しました。特にインド市場はマザー工場の地の利を活かし、競争力が一段と高まっております。その結果、受注高は8,798百万円(前年同期比124.0%)、売上高は6,940百万円(同108.7%)と、それぞれ中間期として過去最高を記録しました。一方、セグメント利益は、東南アジア市場の不調により、1,988百万円(同98.2%)と若干の減益となったものの、高い収益性を安定して維持しております。

## ④ 東アジア

中国市場は景気停滞と競争激化の影響により低調に推移しました。日本市場におきましては、飲料市場向け有力案件の成約時期が次四半期へ延伸したことにより、受注高は一時的に減少しました。その結果、当中間期の受注高は3,434百万円(前年同期比88.6%)、売上高は3,838百万円(同80.9%)とそれぞれ前年同期を下回りました。一方、セグメント利益は、好調な海外市場を背景とした海外連結子会社向けの販売増加に加え、製品ミックスの改善等が奏功し、4,563百万円(同149.7%)の増益となりました。

## (2) 財政状態の概況

当中間連結会計期間末(以下、当期間末)の流動資産は、前連結会計年度末(以下、前期末)と比べ3,593百万円増加し、65,070百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ353百万円増加し、17,262百万円となりました。この結果、当期間末の資産合計は、前期末と比べ3,947百万円増加し、82,333百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ1,694百万円増加し、14,585百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ650百万円減少し、5,897百万円となりました。

純資産は、前期末と比べ2,903百万円増加し、61,850百万円となりました。

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
前期末	61,477	16,908	12,891	6,548	58,946
当期間末	65,070	17,262	14,585	5,897	61,850

(キャッシュ・フローの状況)

当期間末における現金及び現金同等物は、前期末に比べ674百万円増加し、33,143百万円となりました。

当中間期における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 の期末残高
前中間期	4,843	△502	△3,032	30,026
当中間期	4,566	△962	△3,790	33,143

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

受注高及び売上高の増加に伴い、売上債権及び棚卸資産の増加による資金の減少があったものの、税金等調整前中間純利益の計上に加え、契約負債(前受金)の増加等により、営業活動によるキャッシュ・フローは4,566百万円の収入(前年同期：4,843百万円の収入)となりました。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

インド工場における設備維持費用等により、投資活動によるキャッシュ・フローは962百万円の支出(前年同期：502百万円の支出)となりました。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済や期末配当金の支払い等により、財務活動によるキャッシュ・フローは3,790百万円の支出(前年同期：3,032百万円の支出)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の連結業績予想につきましては、2025年11月12日に公表しました連結業績予想を上方修正しております。

詳細につきましては、本日(2026年5月13日)別途公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 当中間期の経営成績の分析、詳細については、本日TDnet及び以下当社ウェブサイトに掲載しました決算補足資料をご参照ください。

(URL：<https://www.nisseiasb.co.jp/ja/ir/library/investment-seminar/>)

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,469	33,143
受取手形及び売掛金	9,430	11,434
商品及び製品	2,643	3,287
仕掛品	7,542	7,572
原材料及び貯蔵品	7,528	7,929
その他	2,003	1,912
貸倒引当金	△140	△209
流動資産合計	61,477	65,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	4,945	4,958
機械装置及び運搬具 (純額)	4,963	4,697
土地	1,988	1,988
その他 (純額)	2,773	3,271
有形固定資産合計	14,670	14,915
無形固定資産	177	144
投資その他の資産		
投資有価証券	775	897
その他	1,380	1,407
貸倒引当金	△95	△102
投資その他の資産合計	2,060	2,202
固定資産合計	16,908	17,262
資産合計	78,386	82,333

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,219	1,671
短期借入金	1,493	1,493
未払法人税等	1,290	1,226
契約負債	4,764	6,787
賞与引当金	634	679
役員賞与引当金	43	26
その他	2,445	2,701
流動負債合計	12,891	14,585
固定負債		
長期借入金	4,624	3,877
役員退職慰労引当金	627	668
退職給付に係る負債	1,132	1,186
その他	164	164
固定負債合計	6,548	5,897
負債合計	19,439	20,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	50,855	52,641
自己株式	—	△0
株主資本合計	57,912	59,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	440	524
為替換算調整勘定	639	1,656
退職給付に係る調整累計額	△103	△86
その他の包括利益累計額合計	976	2,094
非支配株主持分	57	57
純資産合計	58,946	61,850
負債純資産合計	78,386	82,333

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	21,902	24,041
売上原価	11,637	12,149
売上総利益	10,265	11,892
販売費及び一般管理費	4,788	5,385
営業利益	5,476	6,506
営業外収益		
受取利息	105	137
受取配当金	7	10
為替差益	106	3
その他	95	93
営業外収益合計	314	245
営業外費用		
支払利息	16	15
固定資産除却損	10	1
訴訟関連費用	6	34
その他	11	19
営業外費用合計	45	71
経常利益	5,745	6,680
税金等調整前中間純利益	5,745	6,680
法人税、住民税及び事業税	1,713	1,824
法人税等調整額	13	75
法人税等合計	1,727	1,899
中間純利益	4,017	4,781
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失 (△)	8	△2
親会社株主に帰属する中間純利益	4,008	4,784

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益	4,017	4,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96	84
為替換算調整勘定	676	1,019
退職給付に係る調整額	△25	16
その他の包括利益合計	746	1,120
中間包括利益	4,764	5,902
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,756	5,902
非支配株主に係る中間包括利益	8	0

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	5,745	6,680
減価償却費	930	954
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△15	57
受取利息及び受取配当金	△112	△148
支払利息	16	15
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,992	△1,512
棚卸資産の増減額 (△は増加)	605	△711
仕入債務の増減額 (△は減少)	△235	△804
契約負債の増減額 (△は減少)	949	1,739
その他	196	△19
小計	6,087	6,251
利息及び配当金の受取額	109	145
利息の支払額	△17	△15
法人税等の支払額	△1,336	△1,814
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,843	4,566
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△443	△956
無形固定資産の取得による支出	△63	△9
投資有価証券の取得による支出	△10	—
その他	13	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△502	△962
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△746	△746
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△2,246	△2,995
その他	△38	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,032	△3,790
現金及び現金同等物に係る換算差額	279	861
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,587	674
現金及び現金同等物の期首残高	28,439	32,469
現金及び現金同等物の中間期末残高	30,026	33,143

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	6,957	3,816	6,382	4,745	21,902	—	21,902
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,957	3,816	6,382	4,745	21,902	—	21,902
セグメント間の内部 売上高又は振替高	81	61	6,994	9,982	17,119	△17,119	—
計	7,038	3,878	13,376	14,727	39,021	△17,119	21,902
セグメント利益	1,330	637	2,025	3,049	7,043	△1,567	5,476

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,567百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,607百万円、セグメント間取引消去39百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	8,133	5,129	6,940	3,838	24,041	—	24,041
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,133	5,129	6,940	3,838	24,041	—	24,041
セグメント間の内部 売上高又は振替高	129	49	6,998	11,567	18,745	△18,745	—
計	8,262	5,179	13,939	15,405	42,787	△18,745	24,041
セグメント利益	964	834	1,988	4,563	8,351	△1,844	6,506

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,844百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,644百万円、セグメント間取引消去△199百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## 受注及び販売の実績

## ① 受注実績

製品別	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)		当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	11,268	10,504	15,035	11,982	133.4	114.1
金型	7,287	6,717	8,760	7,981	120.2	118.8
付属機器	1,374	1,559	1,478	1,491	107.6	95.6
部品その他	2,976	465	3,382	394	113.6	84.8
合計	22,906	19,247	28,657	21,850	125.1	113.5

セグメント別	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)		当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
米州	7,167	5,574	10,606	8,126	148.0	145.8
欧州	4,767	2,944	5,817	4,313	122.0	146.5
南・西アジア	7,097	5,585	8,798	5,846	124.0	104.7
東アジア	3,875	5,142	3,434	3,564	88.6	69.3
合計	22,906	19,247	28,657	21,850	125.1	113.5

(注) なお受注高の計算に際しては、前期以前に受注した案件のキャンセルは前期末受注残高より控除しております。

## ② 販売実績

製品別	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)		当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)		前年同期比(%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ストレッチブロー成形機	11,540	52.7	12,039	50.1	104.3
金型	6,222	28.4	7,437	30.9	119.5
付属機器	1,287	5.9	1,262	5.3	98.0
部品その他	2,851	13.0	3,301	13.7	115.8
合計	21,902	100.0	24,041	100.0	109.8

セグメント別	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)		当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)		前年同期比(%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
米州	6,957	31.8	8,133	33.8	116.9
欧州	3,816	17.4	5,129	21.3	134.4
南・西アジア	6,382	29.1	6,940	28.9	108.7
東アジア	4,745	21.7	3,838	16.0	80.9
合計	21,902	100.0	24,041	100.0	109.8